



2017 年 3月

第261号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 中塚 辰生
副会長 小口 多津子 多河 敏子
書 記 久保田 貞視 小口 多津子
会 計 長谷川 あや子
幹事会長 並木 雍子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清 多河 敏子
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson(カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎「あずさ部は財物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一歩前進」

東日本大震災被害者支援と地雷廃絶のために

第19回チャリティーコンサート

日時: 2017年3月11日(土) PM2:00~4:00

場所: 八王子市北野市民センター 8階ホール

入場料: 1,000円

Swing Jazz Group by

「Swing Swing Swing」

出演者: 上田亜紀子 (クラリネット)

武田 将 (ビブラフォン)

山本 琢 (ピアノ)

小林 真人 (ベース)

竹内 武 (ドラムス)

曲目: 小さな花 Petite Fleur

ダイナ Dinah

君去りし後 After You've Gone

メモリーズ オブ ユー

Memories Of You

鈴懸の径 Platanus Road

他

巻頭言

第19回チャリティーコンサート開催に当り

コンサート実行委員長 茂木 稔

今年も当クラブ最大の行事であるチャリティーコンサートの開催の時になりました。クラブ全員17名とその奥様方、ならびに中央大学の「ひつじぐもクラブ」の多くの学生の皆さんに応援を頂き実施いたします。

この音楽会は今迄多くの回数を重ねてきました。それらは出来るだけ地域の音楽家の方々に出演をお願いしてきましたが、主に歌曲とヴァイオリンや楽器演奏などであり、少し傾向が固定的になってきました。

そこで、今回は何か新しい方向を目指してスイングジャズ5人編成の「スイング、スイング、スイング」の皆さん

先月の例会ポイント (2月)		BFポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	175g
メン	12名	累計	175g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	71%	累計	0円
メネット	4名	スマイル	20,040円
ゲスト	3名	累計	71,515円
ビジター	3名		
ひつじぐも	2名	オークション	0円
		累計	0円

(聖句)

「すべての王よ、今や目覚めよ。地を治める者よ、諭しを受けよ。畏れ敬って、主に仕え/おののきつつ、喜び躍れ。子に口づけせよ/主の憤りを招き、道を失うことのないように。主の怒りはまたたくまに燃え上がる。いかに幸いなことか/主を避けどころとする人はすべて。」

(詩編第2編10節~12節)

に出演をお願いした訳なのです。ジャズの演奏のグループは近年は割合と少ないのが現状であり、銀座で出演しているグループを聴き、チャリティーコンサートに出演をお願いして決めました。

我々中高年の青春の頃はジャズが全盛であり、「鈴木章二とリズムエース」「チャーリー石黒とトウキョウパンチョス」など懐かしい演奏を聴きに行ったものでした。

毎回、多くのお客様の来場がありますが、その年齢層も我々と同じく高齢化の方向に進んでおり、我々としてはクラブのPRとなることと、比較的若い方々の来場を期待して今回はジャズとしたのです。

このコンサートのチケット販売の収入は殆どを、今も東日本大震災の被害者の方々に、また、地雷廃絶を目指す国際組織である「日本地雷廃絶キャンペーン」(JCBL)にと、今では声高に叫んでおられません、地道に当クラブでは継続して支援をしています。また、協賛して出演して頂ける出演者の5人の方々には心から感謝申し上げます。また、ご来場の皆様方が楽しんで貰えることを期待します。

2月メネット・TOF例会を終えて

メネット会会長 並木雍子

2月25日(土)、今年も、メネットが一つになって、TOF例会を開催することができました。此の日に備えて、2度の準備会を持ちましたが、慣れないことで何か不安がいっぱいでした。今年は、大久保メネットによるゲスト・ビジターの紹介もスムーズにいき、東日本区メネット委員会委員長の相磯優子さんが遠く沼津から出席して下さい、この寒い季節に多くの方々をお迎えして共に例会を持たたことに感謝しています。

TOF例会の意味も久保田メネットによりわかりやすく説明され、中央大学学Y生もよく理解して下さいました。聖書朗読・食前感謝の祈禱は担当の辻メネットがよい声で明瞭に下さったので、スムーズにTOFに入ることができました。また、辻メネットには、キーボードで「ワイズソング」、「メネットソング」の伴奏をしていただき、そのため、気持ちよく声をそろえることができました。会食ではおにぎりに添えられた、大久保メネットの漬物、久保田メネット手製の可愛い箸袋が好評でした。

卓話では、栃木YMCAと東京YMCAで、「居場所のない子どものための居場所づくり」をすすめてこられた(東京YMCAでは“liby”と名づけられている)、秋田正人主事より、その実践に関わるお話を伺い、現在も大きな社会的な問題とされる、いじめや不登校の問題について理解を深めることができました。

例会の中では、久保田メネットの発案で持ち寄られた本による寄付金2,750円、スマイルの15,040円、にゲストスピーカーの秋田主事から寄せられた寄付をメネット会活動費として捧げて頂きました。誠にありがたく、感謝をもつ

てお預かりいたしました。

報告に要する時間を把握できなかったため、予定時間を少しオーバーしてしまったのは、司会を務めた私の不慣れによることでした。

例会当日の出席者は、八王子クラブ16名、中大学Yより合田みらいさん、佐藤千紘さん、ゲスト・ビジターとして、秋田正人さん、相磯優子さん、並木コメット、山口直樹さん(東京武蔵野・多摩)、神谷幸男・雅子さん(東京西)の合計24名でした。

今年も皆様の協力により、メネットナイト・TOF例会を無事に開催することができましたこと、心より感謝を申し上げます。



東日本区メネット委員長 相磯優子さん

2月例会 卓話紹介

辻メネット

2月の例会は、メネット・TOF例会です。卓話者に東京YMCAチャイルドケアセンターの秋田氏を招き、『子どもに居場所を』と題してYMCAの現状をふまえてYMCAの未来像を語っていただいた。

カタカナが多い資料で、秋田氏はYMCAならではの「考え方」を「ブランドコンセプト Brand Concept」として示された。

彼にとってはなんと言っても『登校拒否』という「ブランドビジョン Brand Vision」があり、それに向かって何をするか＝「ブランドバリュー Brand Value」、そのために群がる仲間たち＝「ブランドパーソナリティー Brand Personality」を発揮する、YMCAのメンバーの集まり方のねっからのお手のもののスタイルです。『レビュー』仲間の、メンバーの群れの素晴らしさをその笑顔で秋田氏は語っていました。

いま、西東京センターでの私たちの馴染みは『障がい者対応』でしょう。まず、集まる場があって、そこに群れて「何をしようか?」となるYMCAらしいグループがそこあります。♪メネットワイズの応援団♪となるYMCAの理解を深めたひとときでした。

熱のこもった卓話のあと、いつもの橋本メンのハーモニカが聴かれなかったのがとても淋しかった。

あずさ部「安兵衛評議会」に出席して

小口多津子

2月11日(土) 高田馬場・東京YMCA山手センターにて、今年度第2回目の評議会が東京サンライズクラブのホストで開かれました。中塚会長、久保田さん、山本さん、長谷川さん、小口の5名で出席し全体では59名の出席でした。サンライズクラブ会長御園生さんのご挨拶の中にこの評議会に付けた安兵衛の説明が詳しくありました。丁度、この日2月11日が元禄7年に高田馬場の決闘が起きた日であったこと、今の西早稲田のこの地で堀部安兵衛が菅野六郎左衛門に助太刀をして名を挙げたとのことで名付けたとのことでした。

部長挨拶に続いて議案の審議に入りました。

第一号議案では次期部長の東京西クラブの大野貞次さんより次年度の部役員が提案されて全員で承認されました。次年度あずさ部は以下です。部長・大野貞次さん、直前部長・浅羽俊一郎さん、次期部長(2018-2019年度)広瀬健さん(甲府21)、書記・神谷幸男さん(東京西)、会計・鳥越成代さん(東京西)、地域奉仕事業主査・長谷川あや子さん(八王子)、会員増強主査・菰刈光彦さん(サンライズ)、国際・交流主査・広瀬健さん(甲府21)、ユース主査・渡辺大輔さん(武蔵野多摩)。

第二号議案では2017-2018年度の次期部長、いわゆる次々期部長は甲府21クラブの広瀬健さんに決まりました。

最後の第五号議案で今年度CS助成金の配分が発表されました。以下です。

- ・障がい者フライングディスク大会(富士五湖)7万円
- ・アジア賞・キッズオリエンテーリング(松本)5万円
- ・山梨県障がい者フライング大会(甲府21)3万円
- ・石巻市歌の出前(東京たんぽぽ)3万5千円
- ・国立さくら祭り参加(東京武蔵野多摩)1万5千円、

以上5クラブ計20万円でした。それぞれの申請クラブからの詳しい概要が議長の浅羽部長より説明があり、特にその中で強調されたのは、首都圏から離れたクラブとYMCAがないクラブへの支援に力を入れたかったので、富士五湖、甲府21、松本には申請通り満額に助成をしたとのことでした。続いて昨年11月にあった東日本区役員会の報告として10月現在、区の会員数は930名、62クラブ、その中で東京目黒クラブが解散したがメンバーは他クラブに移籍した。

続いて各事業主査と各クラブ会長からの活動報告でした。八王子クラブ中塚会長からは、IYC(台北・8月)に区より派遣された中大学Yの須郷さん、佐宗さんが帰国後の報告会の一つとして、11月の甲府クラブ例会に卓話者として二人が招かれ、立派なIYC体験談を話したことを、八王子クラブ活動の報告の中で話されました。

いつもの評議会、同じ顔触れの60人ほどが山手センターに集い、窓のカーテンを開け放し、部屋いっぱいイースを寄せ合っの談話。一番印象に残ったのは、昨年大病をされた富士五湖クラブの望月 勉さんが元気で出席され、いつもの口調で我々を笑わせて場を作るという、いつもの姿

を見て、ワイズにいと元気になるお手本に出会ったことである。

{他クラブ訪問}

久保田貞視

2月は、山手センターにある山手学舎(東京YMCAが運営する男子学生寮)をサポートしている二つのクラブの山手学舎談話室での例会に出席しました。

○東京サンライズクラブ

2月9日(木)19:00 御園生会長の開会点鐘とご挨拶で「鍋例会」がスタート。毎年、この時期に山手学舎の舎生と共に鍋料理を食べながら交流しようと5年前位から始まりました。御園生会長からは、今回は、舎生に特に課題を与えずに自由に談話しようとの趣旨で3つに分けたグループに美味しい3種類の鍋を用意し、持ち込みのお酒やビール・ワインを提供し、出席者は飲み・食べながらの楽しい談話のひと時を過ごすことが出来ました。舎生はそれぞれバイトや大学の研究室、サークル等で4名の出席に留まったが、各テーブルに一人は配置され、舎生(学生)の大学での研究、サークル活動、アルバイト、ボランティア、山手学舎での生活状況など聴取出来、彼らとの懇談も自由に行うことができました。ゲストとして御園生会長がゴルフ仲間として二人を紹介、また、学舎OBの出席者もあり、3人とも当クラブの潜在的入会可能者です。東京たんぽぽクラブからも2名の出席者がありました。私は、現在、学舎運営委員会のメンバーでもあり、楽しみながらこの鍋例会には続けて出席しています。

○東京山手クラブ

2月21日(火)18:30より同じく、山手学舎集会室(談話室)で開催。金本会長は仕事で遅れたため、浅羽部長の司会で、尾内副会長が、鍋を鐘として開会点鐘、通常の弁当持ち込みでの例会となりました。会食後、学舎舎生よりの東日本大震災被災地支援のボランティアについてパワーポイントを利用しての報告がありました。

木下君(昨年度舎長)と池田君(現舎長)から石巻・女川での牡蠣の養殖の手伝い(網の引き上げ、ブイ・汚れた浮きの洗いなど)及び東松山市の小学校の学童保育所での学童支援について、震災後継続して実施してきたことについてでした。今年は、近く学生YMCAと一緒に石巻を訪問する予定とのことです。山手クラブは震災後、舎生の被災地支援のための交通費を継続して寄付しています。

終了後、全員写真を撮った直後に3月の卒業と共に学舎を去る村山君が到着し、改めて、山手クラブ金本会長から彼に記念品を贈呈されました。私もささやかながら、就職祝に明治時代から若者への処世訓として今も売れているスマイルスの「自助論」の文庫を手交しました。

どのような形であれ、ワイズメンズクラブが東京YMCAの山手学舎の舎生のために親身になって一日の夕食をシェアすることは故郷を離れた舎生にとっても親や祖父母の年令のメンバーと共に和やかな雰囲気を楽しむことが出来、思い出に残る例会と思われま。

EMC シンポジウムに参加して 2017.2.18

長谷川あや子

東新部では毎年、入会間もない人のために「フレッシュワイズセミナー」を開催していますが、部設立20周年の今年はEMC シンポジウムとして東新部以外にも広く呼びかけられ、私も参加いたしました。ワイズ歴の浅いワイズメンからみてワイズはどうなのか、率直な意見を聞き、中堅、ベテランのメンバーとともに六つのグループに分かれ、どうしたら会員が増えるか、ワイズが活性化できるかディスカッションしました。

若手メンバー6人のパネラーの中に大槻展子メン（東京）や綿引康司メン・深尾香子メン（東京多摩みなみ）、板村哲也メン（東京武蔵野多摩）がいらしたのも参加のきっかけとなりました。多摩みなみクラブ会長の石田さんや武蔵野多摩クラブの皆さんも大勢参加しました。こうして応援団が駆けつけるのもワイズの良さだと思います。

伊丹東新部直前部長より挨拶・趣旨説明があり、続いて伊藤東日本区 LT 委員長より会員増強と発展のための問題提起がありました。菅谷東京 YMCA 副総主事の YMCA 新中期計画の説明の後、若手会員パネリストによる問題提起がありました。

6名のパネラー（ワイズ歴7ヶ月から5年の方々）の意見を要約しますと・・・

【ワイズのよいところ】①コメントとして参加していたが大人の人がとても楽しそうだった。②ユースになった時はワイズが無心に支えてくれ素晴らしい団体だと思った。人との繋がりを楽しみながら社会に尊い活動をしている。③入会式に感動した。親切な人が多い。④ワイズメンと知り合い以前から好印象を持っていた。⑤いい人が多く感服している。

【ワイズの改善すべきところ】①YMCA を支援するといっても伝わらない。②義務の部分が多く知人を誘いにくい。③ワイズ＝キリスト教組織と思われる。ハードルが高い。④すべての人に開かれているが入会してみるとキリスト教色が強い。⑤もっと YMCA との一体感が必要。社会に必要な事をやっていることをアピールしたほうがよい。⑥本来の目的の奉仕活動よりも社交に時間と精力がかかる。⑦クラブ例会のあり方ー楽しみが沢山ある時代にこの形式でよいのか疑問を感じる。

問題意識を持ったパネラーの皆さんのご意見に圧倒されましたが、ここで結論を出すのではなく学ぶ機会としてとらえ、どうしたらより良いワイズ活動が出来、人を誘うことができるかを真剣に話し合いました。1時半から4時半まで密度の濃い時間でしたが、改めてワイズスピリットを感じた一日でもありました。最後に東日本区東新部・EMC シンポジウム参加者一同の決意表明がなされ閉会となりました。東新部21名、関東東部6名、あずさ部12名、湘南・沖縄部2名、ゲスト1名、合計42名の出席でした。

高尾わくわくヴィレッジ報告 3月号

館長 佐藤信也

3月に入り高尾では暖かい陽気となってきましたが、朝晩はまだまだ冷え込んでおります。3月は開所12年目として、初めて4,000名を超える宿泊数となり春休み期間中はほぼ予約で埋め尽くされて来ました。

皆さまにご協力頂いている花壇では「菜の花」「日本水仙」が綺麗に咲きほこり西洋水仙も元気に芽を伸ばし開花が楽しみです。更に学校時代からあった「梅」も綺麗に咲いて参りました。茂木花壇隊長からブリテンやメールなどでもお知らせを頂いておりますが、花壇に於いては日照問題があり育つ花の選定が再検討課題となっています。同様に表玄関先にも新たに花を植えようと計画中です。また皆さまのお知恵を頂きたいと願っております。

これから TWV は10月頃までは繁忙期を向え大変忙しい時期になりますが、3月下旬から4月初旬までは櫻が咲く頃です。そこに中庭の花壇が加わり利用者の皆さんを笑顔で迎えてくれると期待しています。

最後になりますが、公益財団法人東京 YMCA 第14代総主事として菅谷淳氏が就任されます。次年度、東京 YMCA グループ全体としても随所に人事変更が予定されております。私は4月より公益財団法人東京 YMCA 賛助会事務局長と YM サービス株式会社代表取締役を兼務する事となりました。2年間と言う短い期間ではありましたが、皆さまには大変お世話になりました。感謝申し上げます。業務は重責のため不安もありますが、期待に応えられるよう精一杯努力してまいりますので引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

尚、4月から TWV の新館長は開所当時より TWV を支え続けてきました古市健さんと決定いたしました。古市さんには TWV スポークスマンとして八王子ワイズメンズクラブの一員に加わらせて頂きたいと願っております。新年度、TWV も新体制となる為、中々業務上例会への参加は難しいと思いますが、皆さまのお仲間として受入れて頂ければ幸いです。

今後も TWV の諸活動をはじめ、YMCA へもご指導ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

西東京センター3月の本 主な3月の行事

3月8日(水)

午後4時～6時

東日本大震災街頭募金

国立駅南口

6年目を迎えた東日本大震災を憶え、街頭募金を行います。

是非、ご参加ください。



中大・学Y便り

《 感想 》

合田みらい

中央大学ひつじくもの合田みらいです。今回初めてメネット・TOF 例会に参加させて頂きました。初めてお会いするメンバーの方々に前に少々緊張しましたが、美味しいお漬物とおにぎりをいただきながら参加者の方とお話を楽しむことが出来ました。

今回の例会では東京 YMCA チャイルドケアセンターの秋田正人氏のお話(「子どもに居場所を」)を聞かせて頂きました。1990年代から増加した「引きこもり」や「不登校」という社会問題に対するYMCAの当時の状況をお聞きし、人と人の繋がりがYMCAの活動の場を広げ、子どもに居場所を作る上で欠かせないことだと知りました。

そして、YMCAと地域の関係作りの活動や現代の日本社会の変化と共に21世紀型のYMCAの姿がどうあるべきなのかについてもお話をして下さいました。私は昨年春に中央大学YMCAのひつじくものメンバーになりましたが、YMCAというブランドについて詳しく学ぶ機会はありませんでした。しかし、今回初めてYMCAの活動の始まりやブランドコンセプトについてお話を聞くことができ、YMCAがもつ個性やそのプロジェクト全体像を知るための第一歩になりました。

また東京八王子ワイズメンズクラブでは、3月11日(土)に八王子北野市民センターでチャリティーコンサートの開催と3月25日(土)には浅川(高幡不動駅より徒歩15分)の「ふれあい橋」下の河川敷で風揚げのイベント「揚れ 希望の風2017」が実施される予定です。私は今回の例会が初参加となりましたが、今回はコンサート等の様々なイベントで八王子ワイズメンズクラブの皆さんとお会いし、交流が深められることを願っています。

そして4月から大学の授業が始まり、また少しずつ忙しくなりますが、八王子ワイズメンズクラブの皆さんのように自分の知りたいことを積極的に学び、聞く姿勢を忘れないよう一日一日を過ごしていきたいと思っております。

西東京センター便り

＜西東京YMCA便り＞

中里 敦

少しずつ春の気配を感じられる季節となりました。国立の桜が楽しみです。

3月年度末の西東京センターは、各定例活動の今年度評価や新年度の準備、春のキャンプに向けての準備、卒業リーダーを祝う会、その他年度末業務、新年度準備など様々あります。

その中でも思いが募るのは、ワイズの皆様にも応援やお支えをいただいたリーダーが社会へ出ていく時期でもあります。寂しくもあり、嬉しくもある別れです。

YMCAでの活動は、リーダーにとって多くの出会いがあり一人ひとりを成長させてくれています。メンバーとの出会いは、人と向き合い、他者を受け止めることを学び、悩み互いに成長する存在です。リーダー同士の出会いは、同じ思いを持ち、心開き、語りあい、支え合う存在です。ワイズとの出会いは、サポートへの感謝の心や頼もしさを感じ、同世代とは違った価値観を知り、社会を教えてもらう存在だと感じます。YMCAでの一つひとつの出会いが、これから社会で活躍する礎になっていくと信じています。

また、3月で思い起こされるのは、2011年3月11日の14時46分に起こった東日本大震災です。その時に流れたテレビの映像が今も思い起こされますが、少しずつ記憶が薄れてきているのを感じます。リーダーたちにしてみれば、6年前は中学生の頃の話にもなります。3.11を迎えるにあたり、その時を思い出し、苦しみや悲しみであった人たち、そして今も元の生活に戻れない人たちのことに思いを馳せることが必要だと感じます。出来ることは小さく少しだけでもいいかもしれませんが、今年も西東京センターに関わる人たちと街頭募金を行いながら、東日本大震災を憶えたいと思います。

この2016年度も多くの支えにより無事に終えられることに感謝いたします。次年度も引き続きよろしくお願い致します。

(お 話)。

メシアに関する最重要な詩編とされる最後の箇所です。今の世界はリーダーと目される米国の大統領が言いたい放題で、しかも信仰にはほとんど縁がない方のようなのに、就任の時は教会に見えたので、牧師さんが戸惑ったというほど日和見主義の感じの方です。

投票で選ばれるという、民主主義の欠陥は、巧みな民衆迎合で一旦選出されればやりたい放題だという事でしょう。特に首相とか大統領など最高指導者の独裁性は目に余るケースが多過ぎます。「主の怒りを招き、道を失うことのないように」して欲しいと祈ること切です。

3月5日が啓蟄だそうですね、今年もチャリティーコンサートなどが成功裏に運営されますように祈ります

仲田達男

報 告

2月メネット・TOF例会

- 1. 日時： 2月25日(土) 18:00-20:15
- 2. 場所： 北野事務所
- 3. 出席者(敬称略)：

小口、長谷川、山本、中塚、並木メン・メネット、辻メン・メネット、茂木、望月、久保田メン・メネット、大久保メン・メネット、多河、福田

中大ひつじぐも：合田みらいさん、佐藤千紘さん

ビジター：相磯優子さん区メネット委員長(沼津)、山口直樹さん(東京武蔵野多摩)、神谷メン・メネット(東京西)

ゲスト：秋田正人さん(東京YMCA)、並木真さん(並木メンコメット) 計24名

○司会は並木メネット委員長により、中塚会長の開会点鐘、大久保メネットのビジターの紹介の後、相磯東日本区メネット委員長のメネットの国際への寄付金のお礼および八王子クラブでのメネット例会開催に感謝された。続いて、久保田メネットによるTOF例会の趣旨の説明があり、辻メネットの聖書講読と感謝の祈りでおにぎりの会食に。

卓話は東京YMCAチャイルドケアセンターの秋田正人さん。卓話「子どもに居場所を」

秋田さんはワイズでは、那須クラブ、東京たんぽぽクラブ、東京セントラルクラブのチャーターメンバー。1991~96はとちぎYMCAで、不登校が社会問題となった1992年、栃木県精神保健センター・クリニックと提携した居場所・フリースペースづくりを宇都宮東でスタート。東京YMCAに戻り、ボランティアスクール、不登校生徒の電話相談、世田谷いのちのネットワーク、いじめの講演会、町田での親の会を開催。1998年に不登校生徒が、ありのままいられる場所を展開し、ヒト・カネ・モノを集めるロゴを作成し、「Liby」を開設。仕事をしない、学校に行かない若者をそのまま受け入れる場所とした。最初は、東京山手センターの4階とし、リーダーをそろえ、家具を調達した。現在は、新宿に場所を借り、新宿子どもネットワーク、プレイパーク、新宿区の支援を仰ぎ新宿区自治基本条例策定にも関与した。同時にYMCAのブランドコンセプトについても基本事項について触れられた。本卓話については秋田さんより別途概要を寄稿していただくことにした。



4. 報告事項

- ・ 街頭募金：3月4日(土) 12:30 JR八王子駅改札口集合、13:00~14:30階段下で実施する。出席者：山本、中塚、並木、茂木、久保田メン・メネット、多河、福田、大久保メネット及びひつじぐもより坂本菜美さん、斎藤晴樹君、渡邊敦君

募金箱及び箱に添付する用紙は並木ワイズが用意する。

- ・ チャリティコンサートの担当表配布。3月2日の銀座ライオンでのバンド演奏と演奏者との打ち合わせ。

出席は、中塚会長、茂木、山本、佐藤、久保田

- ・ 3. 11希望の凧揚げ

3月25日(土) 浅川河川敷で実施する。

集合：12:45 京王線高幡不動駅改札

凧の製作 13:00 京王ほっとネットワーク

(京王高幡ショッピングセンター2F)

凧揚げ 14時 浅川の河川敷

終了後 第2例会実施 18:00~20:00

- ・ ひつじぐもよりのチャリティコンサート出席者

1年 坂本菜美、吉田翔悟、2年 佐藤千紘、青山真歩、渡邊敦、須郷利貴、4年井上なるみ 計7名

- ・ チャリティコンサート終了後の打ち上げ(17:00~)

出席者：中塚、大久保メン・メネット、小口、福田、多河、長谷川、望月、茂木、久保田メン・メネット、ひつじぐも一坂本菜美さん、吉田翔悟君、渡邊敦君、井上なるみさん(15人)

スマイルは20,040円 古本代金 2,750円

いずれも、メネット資金に寄付。

ハッピーバースデーの後、メネットソングを歌い閉会。

*BF2017年2月報告

切手：国内 146g(久保田96g 小口50g)

海外 29g(久保田) 累計 175g

プルタブ 0kg 累計 0kg

* 老人デイサービスセンター鑑水*

【報告】2月16日(木) ペーパーフラワー14:00~15:00

参加者：石井、色川、下重、山口、山中、茂木

3月2日(木) ペーパーフラワー 14:00~15:00

参加者：赤羽、石井、色川、下重、山口、山中、茂木

【予定】

4月20日(木) ペーパーフラワー14:00~15:00

3月の誕生祝い

茂木 稔	3月11日
眞野 範一	3月13日
酢屋 園江	3月13日
長谷川あや子	3月19日
並木 雍子	3月19日
茂木 洋子	3月23日